

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)2月10日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24017
発信者名:和田、橋本、大崎



青年農業者クラブ季楽里と湖南農業高校生との交流会を開催

滋賀県では、意欲ある若い農業者を育成確保するために、高等学校在学期から地域農業や職業としての農業に対する知識と理解を深め、就農意欲を高める取組をしています。大津・南部地域では、2024年12月18日に、滋賀県立湖南農業高校の派遣実習生と大津地域青年農業者クラブ季楽里(きらり)との交流会を開催しました。

当課は、高校生に農業をより身近に感じてもらうために、季楽里に協力いただいて、農業法人の現地見学や収穫体験、クラブ員との意見交換会を企画しました。

法人代表から経営概要や経営において工夫していること、仕事のやりがいなどを話していただきました。また、農舎、機械倉庫、ブロッコリーの栽培ほ場を見学し、実際にブロッコリーの収穫を体験してもらいました。その後、クラブ員5名と意見交換会をしてもらいました。初めは、互いに緊張していましたが、徐々に打ち解け、最後は時間が足りなくなるほど盛り上がりました。

交流会後のアンケートでは、「きれいに清掃された大型機械や一面に広がるほ場が印象的だった。」、「獣害で苦労していることを知った。」、「農業は栽培だけでなく、販売や流通までが大事だと思った。」、「人とのつながり、コミュニケーションが大切だと学んだ。」などの意見がありました。また、参加した高校生12名は非農家出身でしたが、全員が「農業への関心が深まった。」と回答され、農業という職業を知ってもらうきっかけとなりました。

2月末には、指導農業士会大津・湖南支部長をはじめ、湖南農業高校、農業大学校と連携会議を行い、今年度の取組の振り返りと次年度に向けた話し合いを行います。